

緊急赤潮情報 10

令和5年8月10日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

臼杵湾でコクロディニウム・ポリクリコイデス(有害プランクトン)が注意密度を超えています。また、メソディニウム・ルブランと混合赤潮を形成し、一部では着色しています。魚介類の管理に十分注意して下さい。

発生場所 臼杵湾
プランクトン種類 コクロディニウム・ポリクリコイデス 126 細胞/ml (表層)
メソディニウム・ルブラン 4,350 細胞/ml(表層)
※中部振興局の調査結果による
発生期間 令和5年8月10日～

(コクロディニウム・ポリクリコイデスの注意点)

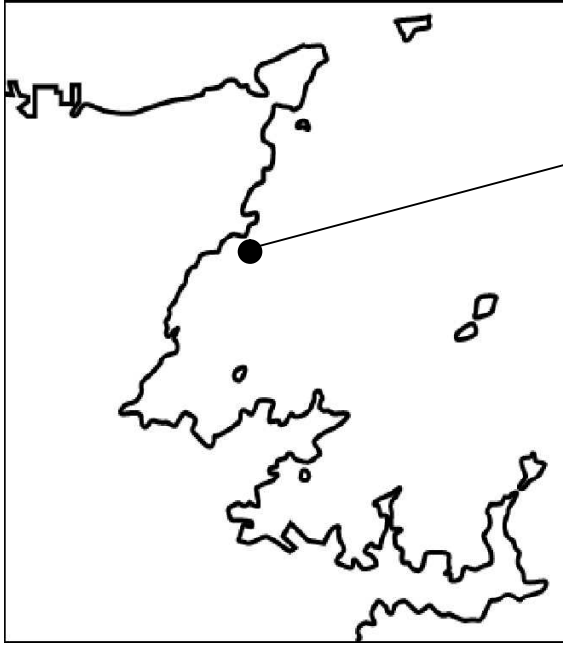
- ・ 警戒密度：300cells/ml 注意密度：30cells/ml
- ・ コクロディニウム・ポリクリコイデスは魚介類に斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 鉛直運動するため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害を発生することがあります。(中層で赤潮になっている)
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。
- ・ コクロディニウム・ポリクリコイデスは低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

メソディニウム・ルブラン(旧名ミリオネクタ・ルブラ)について

- ・ メソディニウム・ルブランは魚介類に直接、斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンではありませんが、濃密度域ではプランクトンの死骸等による海水の腐敗によって、酸欠による斃死を引き起こすことがあります。ご注意ください。
- ・ 午前中に海色がよくても、午後から着色することがあります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動します。
- ・ 陸上養殖でも、取水口から原因プランクトンが進入することがあるので、注意してください。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 蓄養は控える。



一尺屋

コクロディニウム・ポリクリコイデス
126 細胞/ml (表層)

メソディニウム・ルブラン
4,350 細胞/ml (表層)